
ONIGAHUTIMURA

FrangBeat

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ONIGAHUTIMURA

【Nコード】

N3772BA

【作者名】

FrangBeat

【あらすじ】

雛見沢分校に転校してきた前原圭一。

そこで聞いた奇妙な伝説。

“オヤシロ様”と呼ばれる存在がいること。

それを倒す“鬼”と呼ばれる存在がいること。

“鬼”と“オヤシロ様”の立場が全く逆転した世界。

園崎魅音編

「ど、どうも……この学校に転校してきました……前原圭一です……」

その日、雛見沢分校に一人の少年が転校してきた。

- - - - -

転校から1か月後

「圭ちゃん、まだこの雛見沢のことわかんないでしょ?」

「ああ。まだ学校と近くの商店街ぐらいだな……」

「今度の日曜さ……案内してあげる。」

「本当か?! 助かるぜ!! 梨花ちゃんとかレナとか連れて行くか?」

「いや……その……二人がいいな……」

「あ……ああ……わ、分かった……」

1か月にしてこの展開……早すぎじゃね??

「そして早くも日曜日。」

「お待たせ魅音!!」

「遅いよ圭ちゃん」

「悪い!!」

「いいよ。大丈夫。」

「サンキュー。．．．それにしても魅音．．．」

「ん?どうした圭ちゃん。」

「その服装．．．似合ってるよ．．．かわいい．．．」

「え?!あ、ああ．．．ありがとう．．．」

「．．．．．」

しばらくの沈黙が二人に訪れた。

「あ、まずここね。古手神社。」

「古手??」

「そう。実はこの巫女さんは梨花ちゃんなんだよ。」

「梨花ちゃんが?」

「綿流しのお祭りで演武をやるんだって。」

「綿流し??」

「うん。使い終わった座布団とかの綿をくお疲れ様>の意味を込めて川に流すんだよ。」

「ふうん。なんか面白そうだな!」

「楽しいよ!! 今年は来週の土曜日だから一緒に行こ!!」

「おう! いいぜ!!」

「その……二人で……」

「お、おう……」

また沈黙。てめえら1か月だろうが(怒)リア充爆発しやがれ(怒)つていう想いは無しで(笑)

「で、ほかには見るとこあるのか??」

「まあ……圭ちゃん来る前には結構あったんだけど、ずいぶん前になかったりとかしてるからね……」

「そうなのか……あ、じゃああそこ行っ方がいいか??」

「あそこ??」

「ほら! あの丘の上!」

「ああ。あそこはすごく眺めがいいよ。」

「よっしゃ！！！！そうと決まればダッシュだ！！魅音！！競争だ！」

「おう！負けないよ！」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「はぁ・・・・・・・・はぁ・・・・・・・・疲れた・・・」

「そうだね・・・・・・・・」

「しかしほんとに眺めいいな～！！！」

「でしょ？」

「魅音。今日はありがとな。案内してくれて。」

「うん。また一緒にここに来ようよ。」

「ん？いつでもいいぜ！！」

「うん・・・・・・・・」

「・・・・・・・・どうした？？魅音・・・」

「いや・・・なんでもない・・・帰ろ？」

「あ、あぁ・・・・・・・・」

その日、園崎魅音と前原圭一は帰宅した。

・園崎家浴場・

「はぁ・・・なんで言えなかったんだろう・・・駄目だなぁ・・・
・勇気ないと・・・」

「どうしたんですか??お姉・・・悩んだ顔して・・・」

「好きな人に好きって言えなかった・・・言おうって決意してたのに・・・」

「それって圭ちゃんですか?」

「うん・・・って詩音!!!!いつの間に入ってたのさ?!!」

「ついさっきです」

「はぁ・・・聞かれた・・・詩音に聞かれた・・・」

「別にいいじゃないですか 人を好きになることは悪いことではありません。私だって今も悟史君のこと好きです・・・」

「悟史・・・どこにいるの・・・沙都子のこともあるし・・・
」

「北条家が村を売ったっていう話ですか?」

「うん・・・その話がまだ村人の中に残ってて、今でも沙都子は軽蔑の目を向けられてる。」

「ですね．．．．．まあ今は．．．お姉の恋路を心配します」

「もぉ～～詩音～～!!」

「てへへ」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3772ba/>

ONIGAHUTIMURA

2012年1月9日21時58分発行